



交通・観光事業者向け

カーボンオフセットのすすめ

カーボンオフセットとは

自身の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することをいいます。



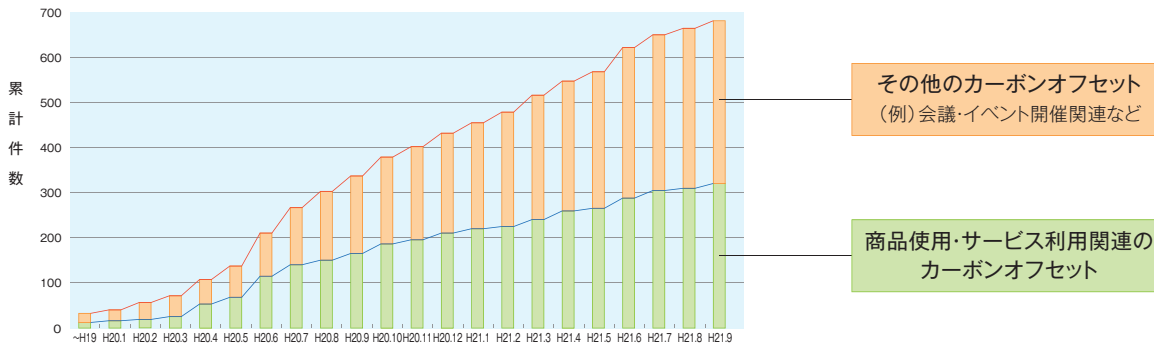
※クレジット(温室効果ガスの排出削減・吸収量)

温室効果ガスの排出を削減又は吸収するプロジェクトを通じて生成される排出削減・吸収量の総称。
第三者機関によって認証されているクレジットとそうでないものがある。

地球温暖化対策の一手法として期待される カーボンオフセット

増加するカーボンオフセットの取組み件数

(出所) 環境省の調査による



商品使用・サービス利用関連のカーボンオフセット

商品の購入者やサービスの利用者が、それらの使用や利用に伴い排出される温室効果ガスを他の場所での排出削減・吸収で埋め合わせるため、必要な資金を任意で提供し、それを原資に企業がクレジットを獲得する手法です。

カーボンオフセットの意義・効果





- 市民等に地球温暖化対策への貢献の機会を提供します。
- 「見える化→自分ごと化→削減努力→埋め合わせ(オフセット)」という流れを作り出すことで、ライフスタイルや事業活動の低炭素化を促進します。
- 温室効果ガスの排出削減や吸収を実現するプロジェクト等への資金供給にも貢献します。

企業にとってのメリット

自社の商品・サービスにカーボンオフセットを導入することで、

- 温暖化問題への積極的な取組み姿勢をアピールできます。
- 商品・サービスの差別化も期待されます。

交通・観光分野でのカーボンオフセットの事例

 航空	A 航空会社が、同社便搭乗客向けのサービスとして導入。 希望者は路線に応じた上乗せ料金を支払い、航空機による排出CO ₂ のうち自己に帰属する分をオフセット可能。	 バス	B バス事業者が、従業員の通勤定期券を一括購入する法人向け商品に導入。 バス運行による排出CO ₂ のうち、同定期券保有者分をBバス事業者の負担でオフセット。
 宅配便	C 宅配事業者が、オンラインショッピングサイトの配送サービスに導入。 利用者は1個の配送につき1円の上乗せ料金を任意負担。C宅配事業者、通販会社も同額を負担。	 旅行	D 旅行業者が、旅行の際の移動などで排出されるCO ₂ をオフセットする団体旅行商品を発売。 利用客はオフセットのためにグリーン電力証書購入代金等を追加負担。

カーボンオフセットを導入するには

交通・観光事業者が自社の商品・サービスにカーボンオフセットを導入するためには、以下の事項が必要です。

- ① オフセットの対象範囲と排出量算定方法を決定し、排出量を算定
- ② お客様に任意負担していただくオフセット料金の設定
- ③ オフセット料金の徴収方法の決定
- ④ お客様へのオフセットに関する情報提供方法の決定と実施
- ⑤ クレジットの調達による排出量のオフセット

エコモ財団作成(国土交通省推奨)の
「交通・観光カーボンオフセットガイドライン*」
をご参照ください。

*エコモ財団ホームページに掲載 <http://www.ecomo.or.jp/>

交通・観光カーボンオフセット 支援システムとは

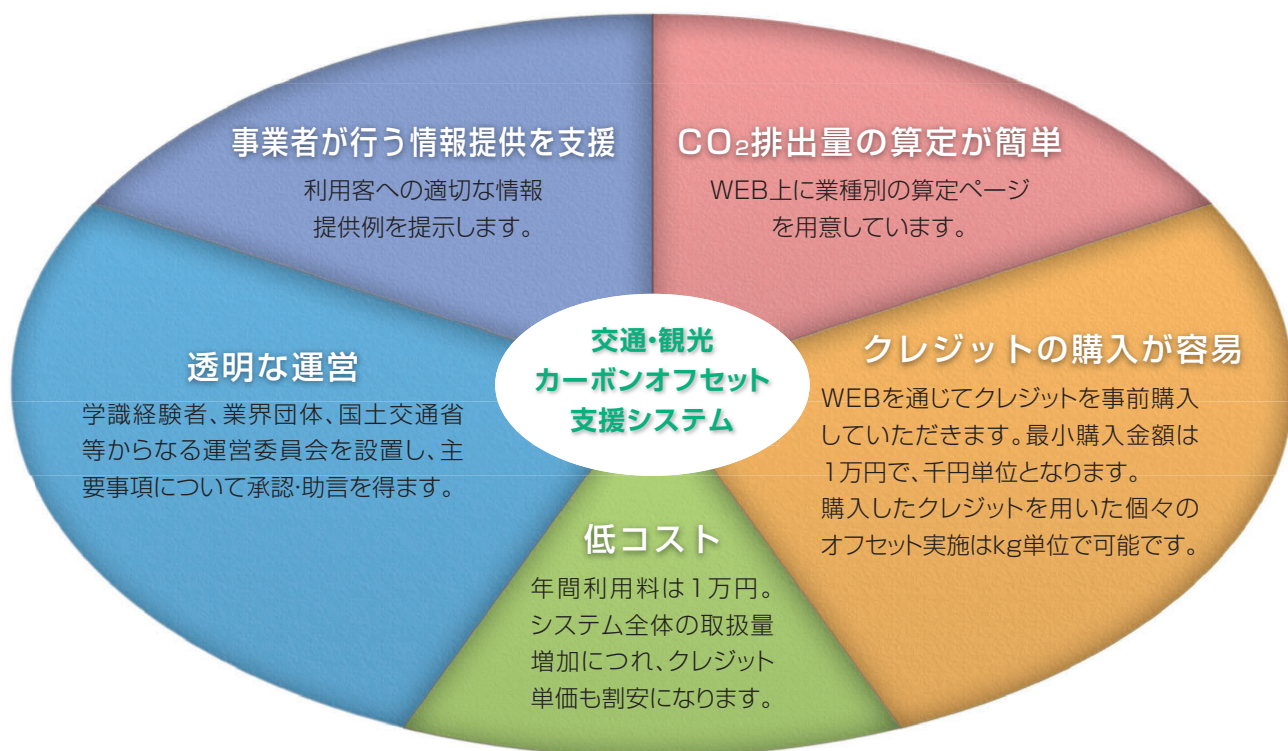
概要

交通・観光事業者による自社商品・サービスへのカーボンオフセットの導入を支援するために交通エコロジー・モビリティ財団が提供するサービスで、WEBシステムを通じて排出量の算定やクレジットの購入・管理などをやすくするものです。

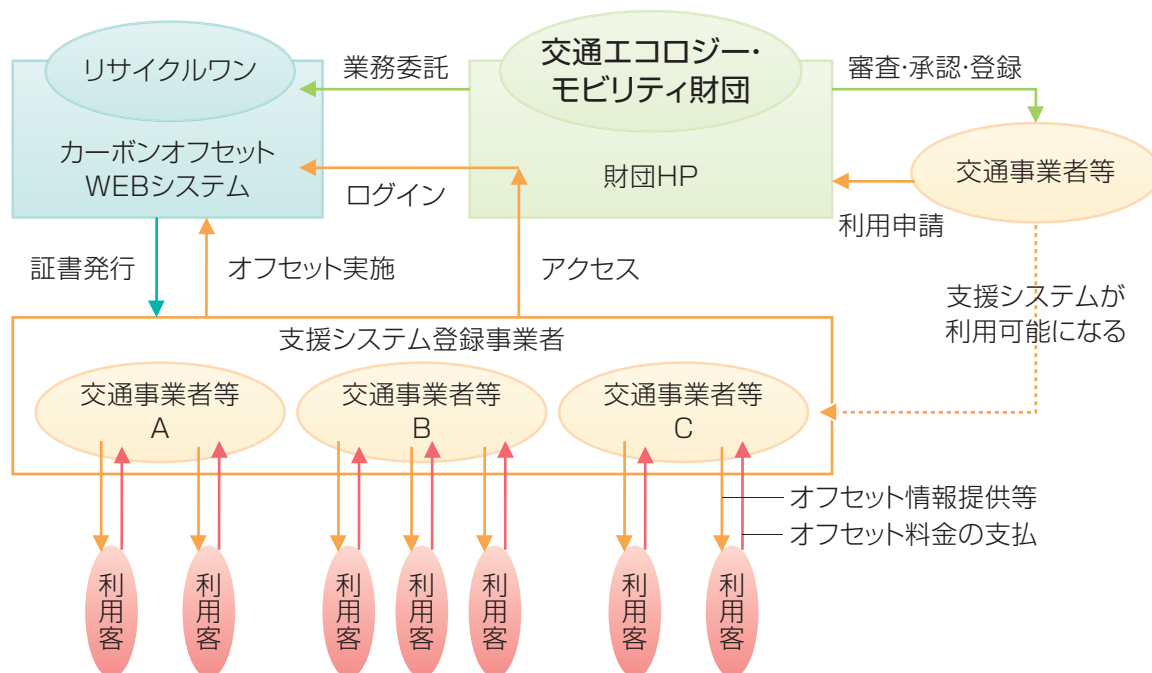
対象業種

航空、鉄道、バス、タクシー、宅配、レンタカー、旅客船、旅行、ホテル

特色



■支援システムの仕組み



事業者におけるカーボンオフセットサービス 実施までの流れ

支援システム
登録事業者に
なるまで

オフセット枠
の購入(※1)

利用客への
オフセット
サービスの
実施(※2)



検討すべき主な事項

- どの商品・サービスに導入するか。
- 利用客がオフセット料金を負担する場合、料金設定及び徴収方法をどうするか。
- 利用客等への情報提供方法をどうするか。
- 支援システムを活用できるか。(エコモ財団HP掲載のシステムマニュアル参照。申請前に体験版システムの利用も可能です。)

●申請書はエコモ財団HPからダウンロードして記入し、同財団宛て郵送して下さい。

●利用承認されたら、年間利用料を支払い、IDとパスワードを受け取って下さい。

条件等を入力し、今後オフセットする予定のCO₂排出量を算定します。

支援システムの情報提供規程に従います。支援システムで提示するWEBやポスターでの情報提供例を参考にしてください。

オフセット報告とは、オフセット枠の残高を管理するためにWEB上でオフセット実施量を報告する手続きです。

WEB上に掲載されたもの(WEB証明)を印刷して渡すか、メールで上記掲載URLを利用客に送信するかのいずれかが可能です。

(※1) オフセット枠は、サービス開始後も枠の残高の今後の使用見込みを考慮して随時購入して下さい。
 (※2) 情報提供やカーボンオフセット報告が適切に行われているかを確認するため、抜き打ち審査が入ります。

お問い合わせ先

 交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部

〒102-0076 東京都千代田区五番町10 五番町KUビル3階
 TEL : 03-3221-7636 FAX : 03-3221-6674
 ホームページ : <http://www.ecomo.or.jp/>